

# バストス週報

潮騒 34

## 田中逮捕の一考察

○田中角栄元首相が口社から献金が賄賂か判明せぬ金を受取った件で、取り致す外国為替法違反容疑で逮捕されたことは日本中は勿論世界の隅々まで驚かせたことだろう。田中元首相が、丸紅の松山元会長から口社提供の五億円を三年前数回にわたって、田中の秘書榎本敏子を通じて受取ったものであるが、あ、せんした側の丸紅も受取った側の榎本も、その争奪を認めたらしいので、逮捕されたとは二十日から十日間拘束されることになり、急速な取り調べが行われる。

○一般世間が驚いているのは、田中前首相のような大物がはじめから摘発されたことであって、いずれ起訴されるにしても、ずっと終了に近づいてからであると思っていたにちがいない。田中が無関係である筈はないと思っていただろう。田中が首相時代にニクソン元米大統領とハワイで会談した時、口社製のクライスター車の商談をしたり、PXL機国内製を取り消し、輸入機とすることを決心した内情を知っていたので、口社事情が暴露した時、田中もやられると内々期待したにちがいない。恰どのがれっこない時期にぶっかっついたのである。

○だが一つ言々に合点のいかぬことがある。それは田中ほどの人物が、その五億円という大金をワイロだか、献金だかを咄めもせず受取ったとは何という杜撰さであろう。自己の享樂や事業に使ったのなら不潔だが、選挙資金に使ったものなら政治資金として、献金を受けたものとして処理できた筈であつたらう。五億や六億のはした金とでも思って小馬鹿にしてかかっただものであろうか。

○吾々は田中角栄という人物にこれまで好感を持っていた。苦學奮闘して財を成し、政界入りをし、閣僚を経て首相にまで昇進したことは男子の本懐で、誰もがよく成し得ぬ壮事である。ただ、あまりにも金を湯水の如く費やして政界をかさまわした側があるが、その金脈にいかかわしい処を暴露したことは非常に残念でならない。

○一昨年六月文春に(田中角栄の研究とその金脈と人脈)が載って世間に騒がれたが、その頃既に口社の献金かワイロが流入していたのであろう。国税庁の目をこまかすために届出を怠ることは賄賂につながらず、政治献金は、税金の対照とならぬ由だから、最初からその手続きをとっておくべきだった。その位のことを知らぬわけはあるまいに、国税庁をなめているといふか、小馬鹿にしていたのだから。○今の処、口社のワイロを隠蔽した窓口は丸紅・全日空と児玉の三社で、児玉だけは病床にあるので強

第1527号  
昭和五十二年  
八月十六日  
月曜日発行  
Diretor  
Koiti Mori  
Redator  
Shohei  
Miyatake  
Rua. 10 de  
Novembro 882  
C. Post. 412  
Fone 340  
BASTOS  
E. S. P.  
Anual  
Cr. #  
85.00  
São Paulo, A.P.

UAKA  
SABONETE  
高級透明  
わか石けん  
ハチミツ栄養料

WAKAMOTO  
胃腸根本強化  
PERFEITA DIGESTÃO  
ENZIMAS+COMPLEXO+MINERAIS  
わか石けん  
百倍強力



FLORA BASTOS  
T. MORIMOTO & FILHOS LTDA  
Rua Duque de Caxias 524, C. Post 171, Fone 29  
将来に備えて果樹園造成を  
果樹園成功の秘訣は苗木の良種を選定、苗木のことなら農林省公認のフロラバストス森元苗木本舗で御相談下さい  
只今シチオを巡廻しております。宣教師園致します。蘭の苗は全伯の名の通っている蘭園と特約して良種珍種を安価に提供中です園芸に関する苗木一切を取扱って居ります花本類、庭園用樹、鉢植用盆栽用、色色  
森元苗木本舗  
電話 二一九番

制取調べは行われていないが、児玉にも渡ったと見られていふ十億とか田中に流れているとすると大変なことになるが、検査の方で、病人の児玉をどう早く口を刺らせるものだろうか。  
○近着の週刊誌(五月上旬)によると、日本の検察庁の有数の検事達が腕によりかけて黒いビーナツを喰った政府高官の摘発に当たっているが、果して線上に浮び上るだろうか。これまでの疑獄では、容易なことでは疑念線上に上っても起訴迄に到らなかつた。このイライラや、ムカムカが国民の怒りと政治への不信と化しているので、こんどばかりは徹底追



明を要求する声はげしいので、うやむやにはでき  
ないだろう……といっている。  
その解明時期は早くして月中旬か、それとも九月へ  
もつれこむか……と予測しているが、大体七月末  
で田中角栄の名が奪っているの、予測は当つてい  
ると云えるだろう。そして九月へもつれこむだろう  
との予測もどうやら当りどころだ。  
○田中角栄元首相を通じて衆議院の選挙費用として  
給与を受けた議員までが収賄容疑で起訴されるものか、政  
中前首相ひとり収賄容疑で起訴されるものか、政  
治献金の程度で済むものか。法律の解釈はむずかし  
いので、予測はひかえねばならぬが、自党のために  
、つかつてしまつたといふこととあれば、どの程度  
の犯罪となるものであろうか。  
○考えてみると、粗忽な、そして馬鹿げた行為であ  
つたと云えないだろうか。

糸音

### モンソン移住地雑景 (三)

故 輪湖俊 千郎氏著

大正四、五年頃の移民の冥想

村山の家に居候をしていて秋山と二人共同して  
一地域を契約して其の地に移る事となった。  
此の地区はリオ・パルドの橋を渡つて川下に向い  
二つ目で、村山の土地とは約六軒程隔つていた。愈  
々土地を所有して獨立農となつたと思えば、二人は  
氣も晴々としたし、家が広くなつて、第一秋山の子供  
が喜んだ。「パパは何時こんなにお金が儲かつた  
の」と言う次第であつた。

地区は東面して傾斜し、川から百餘程離れた小高  
い所に家が建つていた。リオ、パルドは河幅五、六  
十呎、川底は岩石で急流をなし、水は非常に清澄で  
あつた。川向いは独逸人の地区で、百姓の傍ら小店  
を開き、綺麗な娘が店番をしていた。流石独逸人だ  
けに住宅は清潔で、家を巡つて色々草花を植込み  
、それらがペロパの大樹の蔭にかいま見られた。  
朝日が東の岡に登ると、リオ、パルドの水面が金  
波銀波に輝き、軽快な潮音を立てて流れて行く。山  
里のこの朝の一と時をじつと眺めて居ると、遂かブ  
ラシルかと不思議にさえ思われた。

秋山と彼は相も変わらず豆と南瓜腹で暮しに遣れ  
まいと一生懸命草を踏つた。「君、此の畑地は石が  
あつてチト除草しにくいが、地味は良いね、六十俵  
穫れようなあ」「どうな、然し僕は四十俵でもよ  
いから、石のない方がいよ」彼が答えると、秋山  
黙した。秋山も彼も百姓生活には慣れていないので  
辛い事には変りはないのだが、秋山には妻子を養わ  
ねばならぬ当面の問題に精一杯であり、彼は一介の  
流浪者に過ぎぬ所から、自然と二人の希望と要求は  
異つた角度で進む。

秋山の妻と云うのは、もと同航の知人の妻であつ  
たが、先夫は不幸耕地で三人の子供を残して病死し  
た。未亡人は其の後サンパウロへ出て、家庭奉公な  
どして辛くも三人の子を育て居たが、人のよく出  
来た夫人であり、それに此の境遇に対する同情も手  
伝つて、遂に秋山はこの未亡人と結婚するに到つた。

## HOSPITAL de BASTOS

### 病院よりおしらせ

皆様の希望に応じて



### 眼科専門医

迎えて眼科を開設致しました

診察日は今月第二と第四金曜日

午後一時からです

### 海野勲先生

治療の外めかぬの度も調べます

また眼の手術もいたします

### バストス病院

### 各位

秋山は熊本でも名のあつた家柄に生れ、明治四十一  
年明治法を出で単身渡伯したのだが、当時叔父の鳥居  
素川が大阪朝日で羽振をきかせていた関係から、社  
の通信員という肩書さえ持つて来た。着伯後、彼は  
竹村出張所長の上塚周平の傘下にあつて、難局を抜  
けて居たが、大正二年上塚が失意の帰国するに及び  
、玩具の行商などをして希望を将来に懸いて居たの  
であつた。

今ふとした縁から、秋山は自身よりも年長の、而  
も三人も連子のあつた未亡人と結婚するに到り、彼の  
心境には相当の変化があつたであらう。秋山は非常  
にその妻子と子供を愛した。此の不幸な妻と其の子  
を幸福ならしむる為には如何なる犠牲も顧みぬ態度  
であつた。しかし秋山はこの結婚と共に、若し彼が  
独身でいたならば、或は予想せられぬこともない帰国  
の可能も、今となつては考へるさへ、もの愛い事と  
なつた。なぜならば、現在の家族関係にある限り、  
秋山の持つ郷里の積家は、断じて其の妻と子を幸福  
にする所以とは考へられなかつたからである。既に  
帰国の希望など妻にも抱かなかつた故、子供の教育  
もブラシル式で結構と考へ、密庭に於てすら怪しげ  
なブラシル語を以て終始した。此の事はたとえ日  
本移民がこの国に永住し、その子孫を残すにもても  
、相当深き考慮を要する事と思われたが、秋山はし  
かし考へなかつたようである。

当時のサンパウロ州在住一萬五千の同胞は、実に  
生さんが為めの戦いに困り果て、子弟教育など考へ  
する余裕もなかつたし、又農村地に対する政府の教  
育施設は多く顧みられざる事情にあつたから、日に



月に成人する幾千の日本移民子弟は、従前に環境の支配に放任されて来た。

他面その頃のブラジルは法的にも感情的にも、外來移民に何ら差別なく、誠に移にとつては天国であつた所から、日本移民も出稼の目的では来たが、此の国に永住し、子孫を残すとも敢えて支障ないと思ふ氣持ちに移り行く人々も稀れではなかつた。然し秋山の場合は進んで此の国に永住することを快しと考へた訳ではなく、結婚による新捕勢が秋山をこの心持ちに追い込んだと見るべきであつた。

或時秋山は何と思つたか、大阪朝日の新年号附録にあつた神武天皇即位油絵を食堂の壁に貼つて見た。するとブラジル到着直後耕地で出生したと云う今年八歳になる先夫の女児が、「ババエ、これは日本のブグレ(土人)かと秋山に問うた。秋山の貧弱なブラジル語では到底此の説明は困難であり、結局子供には、なんの事やう父の意を解し兼ねたのであつた。永住もよいし、ブラジル語も又必要であるに相違ないが、凡そ父の持てるものをどの子に伝えることとの出来ぬ不幸は、人生これに過ぐる非惨なしと彼には思われた。

左隣りの地区には山口三之助と云う痛快な男が居た。その頃三十五、六の年輩で、体は大きくはなかつたが、日焼けの顔に一面熊鬚をほやし、千年の歯こむを貯へた皮齒を腰にもたくむき出し、口角泡を飛ばせて嘖り立てると、その容姿に滑稽味があつて、どんな人でも吹き出さざるを得なかつた。

山口は完全に文盲で、自分の名前さえ覚えてなかつた位だから、日本文の手紙など勿論その都度他人を頼らねばならなかつた。然し山口は自分の文盲など一向恥ともせねば、志氣もせず「俺は眼明きを使つて見せる」と氣焔をあげては、事実山口は非常な精力家であつたのみならず、又時流を見る眼に秀でていた。他に對する文章は人を使つても出来るが、自分の記憶を保存することは人に頼めないと見え、山口は彼独特の文字を發明した。

「どうです、私はあなたがあたの文字は読めないが、其の代わり、あなたがたの私の文字は解らんぞしようがい、アハ、……」と笑つて示した山口の事業日記なるものには、埃及文字の羅列である。山口は百姓を副業とし、博衆と教養の仲間を本業としていたが、常に小型の算盤を懐中しては、人と話す際には必ずその算盤を取り出し、パチパチと弾かせる。

「山口さん、ぞりや一體どうした事です」  
「いや、こうしてあなたがあたの話を勘定して置くんです」と笑つて居た。  
山口はモンソン植民地を中心とする一帯を彼の勢力圏内と心得、同心に彼自身の領土位に考へていた。何処の何某がどういふ馬を所有して居り、如何程なら手放すといふ事や、各植民地の耕作面積は勿論のこと農作物の成育状態から、個々の経済内容まで刻銘に調べてある。朝夜で家を出た山口は途中で標馬を買い、その先きで鞍を求めて馬上に鞭うつかと思へば、更にその先きで他の馬と交換し、帰途には仲買をした雜穀を筒車に積んで引いて来ると云う畝境まであつた。人生之戰場、俺が腹巻を巻くのは棺桶へ入る時だけだと言つて、懸当のまま床に就く

ので、妻は常にこぼして居た。何か考えつくとき、夜半でも飛び起きて馬を走らす。山口は只勤が好きで、金銭に執着はなく、何ぞもことを人に頼まれても、いやとけ決して云わぬ。「ハア、よかたし」と引き受けるのであつた。

「山口さん、六歳位の馬で百ミル程度のはありませんか？」  
「ハア、あります。明日連れて行きますよ」  
彼の手許にそんな馬はないのだが、先ずどう答えて置いて、餘を聞かすと、山口の眼前には忽ちにして幾百頭の馬が浮かぶ。一と走りの後には子、ンと六歳馬金百ミル也が注文主の所に繋かれると云う迅速さであつた。

山口には、十二、三歳の男の子が一人あつた。流石に可愛らしく、人に依頼して日本語を教育して貰つた。  
「山口さん、あなたは何故子供に埃及文字を教えへんか」  
「まあ、どう言ひなさんな」と彼は頭を掻いては、山口の教育論は極めて徹底して居た。「私は日本人である。彼、こ私の子も孫もまたその通り、依りに何代かの間に異人と雜婚して、私の血の混じつて居る限り矢張り日本人である。依つて私の先祖の恩を伝えるためにも、最も適切な日本語と歴史を教える必要がある。私は秋山さんの様に親子の縁の切れる様なやり方は好きません」といふにあつた。

山口はその年棒の種を沢山持ち込んで来て、植民に棉花の栽培を奨励して居た。

山口はどの年棒の種を沢山持ち込んで来て、植民に棉花の栽培を奨励して居た。

MASSAGISTA HAYANO ENOKI  
Rua Marechal Floriano, 249 Fone 360 - Bastos - S.P.  
Massagem da cabeça dos pés para circulação do sangue. CURA: dor de cabeça, nervoso, pressão alta e baixa asma, insônia, espinha caída, paralisia, bico de papagaio, reumatismo e todos más da circulação do sangue.  
Não deixe de procurar!  
整体術とは  
諸君の如く、体を整える術です。  
頭のと、へんから足の爪先まで、頭の循環をよくする術です。  
頭痛・リョウマチ・神経痛・不眠症  
足・腰の痛み・センソク・肩のこり・等の血液の循環が滞る一切の病気を根本から治します。  
お試し下さい。  
ルア マレシャル フロリアノ 二四九番  
電話 三二六〇番

FABRICA DE GRANITO  
Av. Rio Branco 23, Fone 515  
ADAMANTINA, E.S.P.  
日本式及ブラジル式  
墓碑 記念碑  
胸像 石燈籠  
石臼 石臼  
石材美術彫刻類一切製作  
古い墓の修理もいたします  
アマンティナ市リオブランゴ大通り  
大西石碑工場  
郵函 二三番  
電話 五一五番



「豆や米ばかりではいけません、千ト糖でも作りなさい。私が良い値で買ってあげます」とふれ廻わったが、大部分の日本人糖の木など見たこともないし、それに栽培法も知らぬので躊躇したが、山口の云う通り米や豆ばかりでは如何にも仕様がないので、此の新作物を試みようとする者も出て来た。サンパウロ州の神はモンソンが発祥地であり、其の又動機と云うのが実にこの山口三之介にあったことを知る人は少いであろう。

又石隣りの地区には垣内と云う三十前後の無智な百姓が居た。頑健な体であったが、いつかの梅毒を其の俣にして放って置いたら、イチ物が根元から紫色に変じて仕舞った。然し痛みもせず、その代り用も赤じなんだが、何となく化膿が移動する様に思われたので、惑日畑で挿肉は鏡でもってかっ切ってしまった。不思議と体には別状なく休いて居たけれど、妻に対して次第に嫉妬深くなり、遂に悶死してしまつた。

### 名作映画紹介 九月十八日・二十日

シネ・バストスにて上映決定ノ

松竹超特作  
球影の出来野

原作 松本清張 監督 貞永方久

その(一)

野上久美と婚約者で新聞記者の添田彰一の二人は大和の唐招提寺と安居院において亡き父野上彌一郎の筆跡を拝観者芳名帳の中から発見した。しかもそれは記されて間もないものであった。

久美子の父野上彌一郎は、第二次大戦末期、ヨーロッパの某中立国公使館で一等書記官を務めていたが、終戦一年前、任地で病を得て客死していた。「もし、父が生きていて、日本に帰つて来ていたら、二人は帰京すると、久美子の母孝子にこのことを話したが、孝子は、とりあわなかつた。

野上の死亡は、当時正式の政府公電によって伝えられた。その遺骨は当時の部下で、現在外務省政務局課長をつとめる村尾芳生が持ち帰つていたので、久美子の婚約者の添田彰一は戦中のかくれ日記本外交史の調査を名目に、外務省の村尾を訪ねた。村尾は、野上氏は自分の到着する二週間前スイスの病院で亡くなつてたと証言した。そしてそれ以上のことは、言葉を濁して語らなかつた。だが添田は図書館で戦中の職員録を探した。

寺島公使は死亡、さらに外務省関係を開き回つた添田は、書記の門田が終戦帰国して間もなく行方不明、武官の伊藤も現在全く消息不明であることを知つた。添田は当時公使館に出入をしていたと思われ、特派員の滝良精を訪ねることにした。滝は添田の社の大先輩で現在世界文化交流連盟の常任理事をしてきた。滝の反感も村尾のそれと似たものだった。添田は、野上の死の真相に何かしら不穏な匂をかいた。

東京世田谷の郊外で殺人事件が起つた。被害者は

### 御礼

去る七月二十五日入植祭の終日夜八時頃、演舞場にて、母が便所に行く途中、石段の所が暗かつたのと、母の不注意のため足をふみはずし、右の足首をいためました。

其の際、小澤格男様、杉藤介様、栖原清様の方々に一と方ならぬお世話になりました。誠に有り難う御座いました。心より御礼申し上げます。

又、御見舞までいただきました皆様にここに重ねて厚く御礼申上げます。有り難う御座いました。実は一々参上致し、御礼を申し上げるべきですが、誠に失礼ながら紙上を以つて厚く御礼申し上げます。

八月三日

谷 田 部 淳

皆々様

品川駅前筒井屋と云う旅館に泊つていた奈良の雑貨商伊藤中一、五十一歳、死因は殺殺——と新聞は報道した。伊藤忠介という名前は添田を驚かした。それは消息不明とされていた元公使館付武官ではな

いか。早速筒井屋を訪ね、主人の筒井源三郎の言葉から添田は、伊藤がその前日に村尾と滝を訪ねていることを知つた。彼は村に休暇届けを出して奈良に飛んだ。伊藤の家を訪ねた添田は、その嫁の口から伊藤が上京の前日、奈良の古寺巡りをし、ひどく興奮して帰つて来たことを聞き出した。彼はその足で唐招提寺に向つた。奇妙なことにはその芳名帳には「田上孝一」の署名は見当らなかつた。その頁は何者かの手によつて切り取られていた。

添田は帰京するとすぐ、久美子の社へ電話をかけた。だが、久美子は、急に休暇をとつて京都へ行つたという。それは亡父の親友滝の招待で南禅寺の山門にその日の正午に一人で来るよう指定されてあった。だが一時を過ぎても滝は現われなかつた。沢山の見物客の中に四十七、八の端正なフランス婦人と、その夫らしい東洋的な白髪の人があつた。久美子の眼に印象的に残つた。

久美子がホテルに戻ると、意外なことには例のフランス人夫婦も同じホテルに泊つていた。彼等が通訳を介して久美子を夕食に招いたが、肉気打久美子はこれを断つた。その夜久美子はロビーで、村尾らしい人物の後姿をみかけた。

平実村尾は吉岡の偽名を使つてホテルに泊つていたが、何者かに同夜射られた。一命をとりとめた村



尾は警察の取調べに今度の旅行はすべて私約なもので、加害者についても全く心当りはないと主張した。添田は今や野上頼一郎の生存を確信していた。その野上は日本に來ている。そして、娘に對面しようとしているのだ。フランス人ヴァンネードこそ、その人ではないかと添田は考えた。

筒井屋の主人筒井源三郎は、或る夜、四人の男たちを拉致された。筒井こそはかつての門田書記生であつた。伊藤は野上の帰国を古寺の芳名帳から知り、それを門田につきつけて、執拗にその所在を追求していった。伊藤は戦時中和平派の行動、特に野上のそれを、祖国を敵に売り渡したものと見て憎みぬいていて、復讐を誓っていたのだ。伊藤に迫まられた門田は、伊藤と争つて彼を殺してしまつた。

滝はヴァンネードこそ野上その人であると添田に語つた。野上は戦争末期、国を捨て、己れが日本人であることを喪失してまでも日本を破滅の淵から救うために連合国側に接触した。そして、戦争の早期終結に大きな役割を果たしていったのだ。

初夏の陽光がまぶしい日、久美子は観音崎にいた。あのフランス婦人がいて、やさしく彼女を迎えた。おわり

### 戦前入植祭演劇の思い出

#### 入植十周年記念祭の歌舞伎

藤原荒次郎氏を先頭に十人余の素人役者がソロソロ打揃つて産業組合の二階へ伯光團の芝居見物、いや見学に行つた。前狂言の伽羅木仙白萩宗の土橋では菊昇師匠がオイラン高尾大夫と、累を一人二役をかつめていたが、高尾の伊達兵庫の髪形とうちかけ姿の美しさ、土橋の役では、累殺しの立まわりの凄惨さと所作の美しさ、切狂言の胸波の鳴門の子別れでは一層観客の涙を誘つていった。

芝居が終るのを待つて初対面の挨拶もどこそこには藤原氏、落龜氏、中村平四郎氏ら芸達者の人々が色々教えを乞うたが、菊昇師匠は極簡単に要所々々を解り易く教えてくれた。

藤原氏はその後何回も本田正雄の宅へ菊昇師匠を訪ねて教を乞うたらしいが、不思議と芸達者でない人に限つて教を乞わなかつた。その結果が成績となつて現われた。菅原伝授寺小屋で落龜氏の松尾丸、藤原氏の源藏・佐々木榮局の手習見などは本職の歌舞伎そのものの名演技で、今もその面白が目に浮ぶほどだ。その中で忠臣蔵四段目、塩田判官の切腹場や落龜氏の由良文助、佐々木氏の力跡など誠に好演で立派なものであつたが、後半の評定場で大野九太夫を演じたM氏の居寝りの態度で客が笑い出した。役者が舞台でイネムリをしていると見えたのであろうか。これで、感動あつたのだが、私は菊昇師匠に何故客が笑つたのかを訊いたら、師匠は、「五万三千石の次席家老獄がコックリく」といねむりしたのはいけません。扇をひさの上に乗立てて、その上に頭をのせていけば眠っていることになり、如何にも武士らしく笑われませんか」と教えてくれた。おわり

### 花の御禮

#### 戸田ツイ子

過日入植祭の演芸会の節舞踊に出演致しました処、左の方々から御しいきの御花を沢山頂戴いたしました。紙上を借りて厚く御礼申上げます。

- |          |          |
|----------|----------|
| 前山 義雄 様  | 宮武 勝南 様  |
| 小野 菊枝 様  | 高薄 雄経 様  |
| 杉山 寅藏 様  | 田川 シズ 様  |
| 岡本 百十代 様 | 龜田 モト子 様 |
| 織田 しづ 様  | 光石 教貢 様  |
| 田川 マリ 様  | 小澤 養鶏場 様 |
| 山中 豊子 様  | 葦原 英雄 様  |
| 小林 小久 様  | 水本 幸子 様  |
| 板垣 悦子 様  | 友谷 千春 様  |
| 光石 美佐子 様 | 木皿 愛子 様  |
| 原野 小冬 様  | 石橋 敏子 様  |
| 若野 様     | 肥後 了サ 様  |
| 添島 ミツ 様  | 柳浦 サワ 様  |
| 上西 君子 様  | 山内 スミ子 様 |
| 大塚 孝雄 様  | 梶田 商店 様  |
| 島崎 ミキ子 様 | 山本 栄子 様  |
| 清家 瑠美 様  | 田川 フミ子 様 |
| 上村 英雄 様  | 御夫人 様    |
| 西本 末子 様  | 千田 住登 様  |
| 中高下 花枝 様 | 右内 学 様   |



死亡通知並に会葬御禮

長女、タニエーラ、ユミ高田（四ヵ月）儀ツパン病院にて  
去る七月三十日午後十二時半急逝いたしましたのでバスト  
スに連れ戻り、翌三十一日午後一時自宅出館、イグレージ  
ヤバストスに於て告別式を頂き、バストス墓地に埋葬仕  
りました。

此の儀謹んで辱知各位に御報らせ申上げます。  
尚葬儀に当りましては御多忙中懇々御会葬下され、且つ御  
鄭重な御香料並に御供花など頂戴いたしありがたく厚く御  
礼申し上げます。

一々御廻礼申し上げる旨の取込中その儀を得ず、失礼乍  
ら紙上を以って謹んで御礼申し上げます。

一九七六年八月一日

中央第三区

- |                |    |    |
|----------------|----|----|
| 父              | 高田 | 英雄 |
| 母              | 高田 | 久恵 |
| 祖父             | 高田 | 重利 |
| 祖母             | 高田 | みね |
| 外              | 家  | 高  |
| 祖父             | 家  | 高  |
| 祖母             | 家  | マ  |
| 親戚             | 家  | 一  |
| 〃              | 織田 | 守  |
| 〃              | 川頭 | 義  |
| 友人代表           | 鶴  | 幸  |
| バストス中央親睦会 第三区  | 様  |    |
| バストスPLI教会員 御一同 | 様  |    |
| バストス南米本願寺      | 様  |    |
| バストス仏教婦人会      | 様  |    |
| バストス福音ホーリネス婦人会 | 様  |    |
| バストス北海道々人会     | 様  |    |
| 会葬者 御一同        | 様  |    |



# 芝居の夕べ

## おしらせ

このたびバストス演劇研究会の方々が明老会  
の老人達に **恩愛双葉峠** 全五幕を  
見せて下さることになりました。

期日 八月二十一日(土) 午後七時より  
場所 バストス総合会館に於て

老人席は舞台に近い方にとつてあります

(老人からはお花はいただきません)

◇一般の方もお出で下さってけっこうです。(入場無料)

少し後方ですが 御辛棒下さい

一般のお方で御花を下さる方には受付があります

主催 バストス明老会  
後援 バストス日伯文化協会

### 明老会 各位

(急に交渉がまとまりましたので世話人会を聞くひまがありませんでしたので、明老会世話人のお方は当日少し早目に席作りにお出で下さるよう、おねがい致します。

この芝居は去る七月二十五日、入植祭の夜演芸場で上演したものでありますが、老人方、及び当夜見られなかった方のため、とくにお願いして再上演していただくことになりました。研究会一同の大熱演に御期待下さい。







# 入植四十八周年記念 演劇研究会会計報告

支	出	収	入
幕及小道具	3,760,40	寄附金	13,300,00
広告及謝礼	1,090,00	御花	1,000,00
慰労会々費	1,000,00		
	5,850,70		14,300,00
		差引残高	8,449,60
会計 梶山 貝田		監査 前山	

(前頁よりつづく)ミニミニリン

第一子戦	一ニ三四五
バストス	〇〇〇〇一〇
ドウラトス	〇〇〇〇〇
二十五日ミニリン幼年	一ニ三
ドウラトス	〇〇〇
イタベチニング	〇〇〇
二十五日ミニミニリン優勝戦	〇〇〇
バステンセ	一ニ三
バストス	三〇〇
少年個人賞	三〇〇
最優秀投手	三
美技	一〇
本塁打	〇
敢闘	〇
投手賞	〇
捕手	〇
一塁	〇
二塁	〇
三塁	〇
遊撃	〇
左翼	〇
中堅	〇
少年優勝	〇
幼年	〇

19 濱田弟 20 マリンセ 21 バカエンブ  
 22 マリンセ 23 バカエンブ  
 24 マリンセ 25 バカエンブ  
 26 マリンセ 27 バカエンブ  
 28 マリンセ 29 バカエンブ  
 30 マリンセ 31 バカエンブ  
 32 マリンセ 33 バカエンブ  
 34 マリンセ 35 バカエンブ  
 36 マリンセ 37 バカエンブ  
 38 マリンセ 39 バカエンブ  
 40 マリンセ 41 バカエンブ  
 42 マリンセ 43 バカエンブ  
 44 マリンセ 45 バカエンブ  
 46 マリンセ 47 バカエンブ  
 48 マリンセ 49 バカエンブ  
 50 マリンセ 51 バカエンブ  
 52 マリンセ 53 バカエンブ  
 54 マリンセ 55 バカエンブ  
 56 マリンセ 57 バカエンブ  
 58 マリンセ 59 バカエンブ  
 60 マリンセ 61 バカエンブ  
 62 マリンセ 63 バカエンブ  
 64 マリンセ 65 バカエンブ  
 66 マリンセ 67 バカエンブ  
 68 マリンセ 69 バカエンブ  
 70 マリンセ 71 バカエンブ  
 72 マリンセ 73 バカエンブ  
 74 マリンセ 75 バカエンブ  
 76 マリンセ 77 バカエンブ  
 78 マリンセ 79 バカエンブ  
 80 マリンセ 81 バカエンブ  
 82 マリンセ 83 バカエンブ  
 84 マリンセ 85 バカエンブ  
 86 マリンセ 87 バカエンブ  
 88 マリンセ 89 バカエンブ  
 90 マリンセ 91 バカエンブ  
 92 マリンセ 93 バカエンブ  
 94 マリンセ 95 バカエンブ  
 96 マリンセ 97 バカエンブ  
 98 マリンセ 99 バカエンブ  
 100 マリンセ 101 バカエンブ  
 102 マリンセ 103 バカエンブ  
 104 マリンセ 105 バカエンブ  
 106 マリンセ 107 バカエンブ  
 108 マリンセ 109 バカエンブ  
 110 マリンセ 111 バカエンブ  
 112 マリンセ 113 バカエンブ  
 114 マリンセ 115 バカエンブ  
 116 マリンセ 117 バカエンブ  
 118 マリンセ 119 バカエンブ  
 120 マリンセ 121 バカエンブ  
 122 マリンセ 123 バカエンブ  
 124 マリンセ 125 バカエンブ  
 126 マリンセ 127 バカエンブ  
 128 マリンセ 129 バカエンブ  
 130 マリンセ 131 バカエンブ  
 132 マリンセ 133 バカエンブ  
 134 マリンセ 135 バカエンブ  
 136 マリンセ 137 バカエンブ  
 138 マリンセ 139 バカエンブ  
 140 マリンセ 141 バカエンブ  
 142 マリンセ 143 バカエンブ  
 144 マリンセ 145 バカエンブ  
 146 マリンセ 147 バカエンブ  
 148 マリンセ 149 バカエンブ  
 150 マリンセ 151 バカエンブ  
 152 マリンセ 153 バカエンブ  
 154 マリンセ 155 バカエンブ  
 156 マリンセ 157 バカエンブ  
 158 マリンセ 159 バカエンブ  
 160 マリンセ 161 バカエンブ  
 162 マリンセ 163 バカエンブ  
 164 マリンセ 165 バカエンブ  
 166 マリンセ 167 バカエンブ  
 168 マリンセ 169 バカエンブ  
 170 マリンセ 171 バカエンブ  
 172 マリンセ 173 バカエンブ  
 174 マリンセ 175 バカエンブ  
 176 マリンセ 177 バカエンブ  
 178 マリンセ 179 バカエンブ  
 180 マリンセ 181 バカエンブ  
 182 マリンセ 183 バカエンブ  
 184 マリンセ 185 バカエンブ  
 186 マリンセ 187 バカエンブ  
 188 マリンセ 189 バカエンブ  
 190 マリンセ 191 バカエンブ  
 192 マリンセ 193 バカエンブ  
 194 マリンセ 195 バカエンブ  
 196 マリンセ 197 バカエンブ  
 198 マリンセ 199 バカエンブ  
 199 マリンセ 200 バカエンブ

## 花の御礼

阿部 幸子 様 板垣 まゆみ  
 溝越 ルリ子 様 板垣 光枝 様  
 佐藤 正重 様 阿部 昭子 様  
 板垣 達志 様 原 節子 様  
 伊藤 時子 様 金 村 様  
 森 王キヨ 様 あがとうございました

## 生長の家お知らせ

八月二十二日の(長澤信二先生の講演会は、九月十一日(土)に延期されましたので、御通知申し上げます

## 誌友会



# Avviso de Cine Pastos

八月十五日(日)九時半 十六日(月)八時 監督 河崎義祐  
 東宝 三浦友和 星由里子  
 総天 片平なぎさ 野村武範  
 然色 田中健 中野良子

八月二十日(金)八時 二十一日(土)九時半 監督 松本健  
 東宝 黒沢年男 酒井和歌子  
 総天 竜雷太 星田里子 藤本悠  
 然色 夏木陽介 東野英治郎

八月二十二日(日)九時半 二十三日(月)八時 監督 西村潔  
 東宝 見崎清志 戸部夕子  
 総天 江夏夕子 睦五郎  
 然色 笠井紀美子 その他

八月二十七日(金)二十八日(土)九時半  
 松竹 日本人ならみんな泣くこのルパンの母の姿に  
 総天 十殊久雄 川口常子  
 然色 山田五十鈴 浦辺条子  
 田村高廣 その他

八月二十九日(日)九時半 三十日(月)八時 監督 加藤泰  
 松竹 青春篇 田宮二郎 石坂浩二  
 総天 愛情篇 竹股無我 徳島美津子  
 然色 池田哲也 渡哲也

九月三日(金)八時 四日(土)九時半 監督 青森 正市  
 東映 関東兄弟仁義 北島三郎 板町弘子 菅原文太  
 然色 伊吹喬郎 金子信雄 村田英雄  
 待田京介

## 御案内

八月二十八日 午後七時から  
**献燈供養萬灯大会**

八月二十九 午後一時 から  
**仏教婦人会員先亡者追悼法要** 勤修  
**おぼん法要** 勤修

二晩共 **ぼん踊り** を催します  
**提灯一個献納願** います

右の通り他の寺院からも沢山参詣者  
 があり、あなたの提灯の下で幾百人  
 の人波で賑わいます。  
 本広告を以って御案内申上げます。  
 おときを差しあげます

**バストス南米本願寺**

# NOSSO RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA Rua. Ad. de Barros 213 Fone 154

**高級腕巻ホルン用壁掛時計**  
 世界中の高級時計が揃っています

**カラーテレビ**

**クラブドールステレオ**

**ホルン用電計算機各種**

電気マッサージ機・蓄音機・ラジオ大小各種  
 写真機・シネミリ・幻燈器・ガスライター  
 電気ヒゲトリ・ユビワ・メガネ・宝石類  
 銀器・高級陶磁器・フックケープ・  
 拡声機・室内裝飾品・装身具色々  
 記念品いろいろ。おみやげ品色々  
 贈答用品・扇風器新製

ルアアデマルテバロス二一三番  
 レローショアリアタカミ

**柴田時計店**

電話 一五四番